

令和 2 年度 東海大学望星技術士会第 7 回役員会 議事録 (HP 版)

- 1 日時：令和 2 年 12 月 19 日（土） 14：00～16：00
- 2 場所：ZOOM によるリモート会議
- 3 リモート出席：(常)森修次、(常)笠原勉、(常)平野滋、(常)永井和典、(常)庄司大介、太田芳雄、星崎紀一、久一博世、今村均、桜井裕一、圓山裕史、中村憲一、(常)齋藤寛(記録)（常任幹事 7 名中 6 名出席）
委任：(常)綿貫啓、中島輝正（常任幹事 1 名委任、幹事 1 名委任）
- 4 打ち合わせ内容
 - ① 土木工学科リモート講義の報告
 - ・学生 70 人以上参加。技術士試験受験への意欲を持った学生が多かったことが一番の成果。
 - ② 会報編集作業の報告
 - ・挨拶文をお願いする川上会長、梶田先生、会員だよりをお願いする会員の方に書式、日程を送付した。
 - ・「会員インタビュー」は前会長の吉田先生をお願いする。Zoom でのインタビュー。
 - ・「会員自己紹介」募集案内を会員全員に配信予定。
 - ・「技術士制度、試験制度」解説、リモート講義のレポートを掲載する。
 - ・「新役員紹介」は今後対象者をお願いする。
 - ・2 月初頭までには原稿をそろえ、2 月中に編集を完了したい。
 - ③ HP 改善・グーグルフォーム運用、会員名簿の活用について
 - ・グーグルフォームを本会 HP の入会申込みにリンクさせることで、名簿管理効率化を検討する。
 - ・名簿の会員内での公開・活用は、会員の承諾、HP でのパスワード管理などが必要となる。継続協議とする。
 - ④ 活動資金の確保について
 - ・活動資金として「寄付金」「協力金」の募集が考えられる。
 - ・金額は自由、期限も設けない考え方もある。実施は総会の議案として承認を得ることを念頭に継続協議とする。
 - ⑤ 本会の同窓会としての位置づけについて（大学校友課への確認）
 - ・本会は 2016 年 6 月 11 日（土）開催の同窓会代議員会で東海大学同窓会公認団体（任意団体）として認められていることを確認した。同窓会 HP 組織図に掲載がないことを伝え、修正と HP のリンクをお願いした。
 - ⑥ その他
 - ・次回総会は前回同様にメール総会とする方法もある。また、コロナ対策の社会的状況を見つつ開催を 9～10 月に延期することで通常開催の可能性があるかもしれない。
 - ・次回リモート講義の講師をお願いしている土木工学科 OB（東京都立大学大学院生）と事前ミーティング経緯報告。
 - ・今後も建設系学生への講義を継続し、建設部門だけでなく他部門、他学科へ間口を広げていくことを考えていかななくてはならない。
 - ・東海大学卒業生の技術士第 2 次試験合格率が極めて低いことが課題。本会で修習技術者の指導技術士の紹介など、特に中小企業等の指導環境を得にくい技術者への支援ができるとよい。
 - ・東海大学 OB や在学生に向けて本会の存在、活動の積極的な発信方法（フェイスブックなど）を検討し、技術士資格取得予備軍の把握と受験の動機づけ（モチベーションアップ）や支援の機会拡大の議論を継続することが必要。
- 5 次回役員会 令和 3 年 1 月 23 日（土）14：00～ ZOOM によるリモート開催とする。